

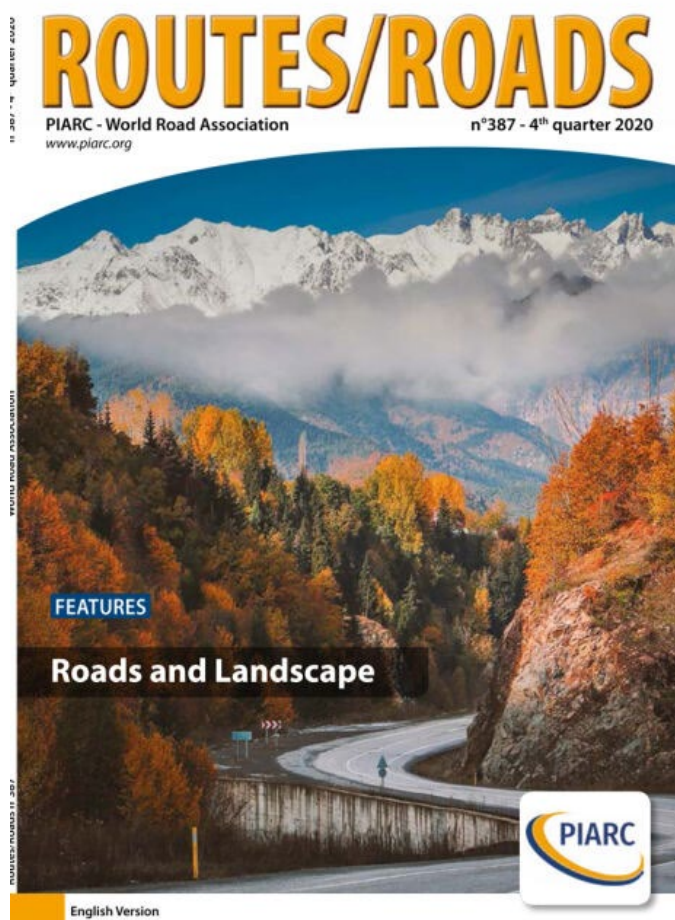
令和3年2月

PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ

日頃より PIARC 活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。ROUTES/ROADS 最新号のご案内とともに、日本国内委員会よりお知らせさせていただきます。最新号の特集は、「道路と景観」です。北欧スウェーデンやノルウェイ、また米国における道路の景観設計や交通インフラに対する景観の影響評価等の論文が掲載されています。皆様の業務の参考になれば幸いです。ぜひご一読ください。

1. ROUTES/ROADS 最新号 (387号)



【特集】道路と景観

【今号の発行にあたって】

追悼 故三谷 PIARC 名誉会長を偲んで

今号には、2020年9月27日にご逝去された三谷浩氏への追悼記事が掲載されています (P.5)。

三谷氏はその生涯を通じて、日本の道路・道路交通の発展に大きく貢献されるとともに、同分野の国際的発展における先駆者として活躍されました。三谷氏

が初めて PIARC 活動に関わられたのは 1967 年 PIARC 東京大会であり、その後、当時の建設省道路局長、事務次官などを歴任される中で、日本国第一代表を務めるなど PIARC 活動へ力を注がれました。そして 1997 年、アジアからは初となる PIARC 会長に選出されました。

1997 年から 2000 年までの会長在任期間中、1998 年の第 10 回ルレオ冬期大会、1999 年の第 21 回クアラルンプール世界大会と、2 つの大会を成功に導かれました。クアラルンプール大会には、当時の大会としては過去最多の約 3,000 人が参加しました。また三谷会長のもと、途上国や経済移行国を中心に PIARC 加盟国は大きく増え、国際道路連盟、アジア・オーストラレーシア道路技術協会など、他の国際道路組織との関係強化にも尽力されました。

2002 年 1 月に開催された第 11 回札幌冬期大会に関しては、日本道路協会長 (日本国内委員会委員長) として大会成功のために尽力され、大会には海外 53 カ国から約 500 名を含む 2,000 名が参加しました。P.5 掲載の写真は、2000 年 2 月に実施された PIARC と日本政府による大会に向けた調印式のもので

三谷氏はその輝かしい生涯において、最も大切な使命のひとつとして PIARC 活動に従事し、その発展に多大な貢献をされました。謹んで偉大なご功績を称すると共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

2. 今号の主な記事の紹介

- ✓ PIARC 活動報告 -4 頁
- ✓ ヤング・プロフェッショナルの紹介 -11 頁

【今号の特集】

- ✓ 道路と景観 - 関心が高くなりつつある分野 -13 頁
- ✓ 交通分野における景観設計 - 公共部門での景観・環境設計に関する調査 -14 頁
- ✓ ノルウェイにおける景観道路 -21 頁
- ✓ ブーヒュースレーン地方の E6 高速道路とその景観 -24 頁

- ✓ 交通インフラの戦略的計画における景観の影響評価 -28 頁
- ✓ 民間事業者と公共での実践 - 交通分野における景観設計 -31 頁
- ✓ 道路利用者の評価を活用 - 交通環境における道路利用者の評価 -35 頁
- ✓ 都市空間のルネサンス -40 頁

3. PIARC テクニカルレポートのご紹介

2016-2019 のタームにおいて作成された技術レポートをご紹介します。

【レポート名】

Intra- and Inter-Agency Integration of Winter Maintenance Management: Case Studies

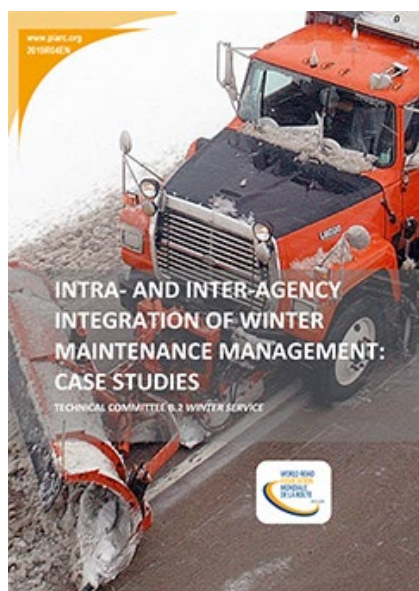
【レポート概要】

本レポートでは冬期道路維持管理を所掌する組織内および複数組織間の連携に関する各国の取り組み(ケーススタディ)が紹介されています。

6 国から合計 10 件のケーススタディが紹介

されており、内訳はチェコ共和国(1 件)、日本(3 件)、ノルウェー(2 件)、ポーランド(1 件)、スコットランド(1 件)、米国(2 件)となっています。これらのうち、4 つのケーススタディは組織内での取り組み、6 つのケーススタディは組織間(国際間含む)での取り組みです。

特に組織内のケーススタディでは、日本での情報提供の自動化による道路管制センターと現場での雪氷作業の連携の効率化、米国ミネソタ州での交通管理や維持管理部門等の連携による除雪車両の派遣、道路路面状況の把握、お客様への道路交通情報の提供の効率化が紹介されています。日本の各組織における冬期維持管理活用の参考になれば幸いです。



PIARC ウェブサイト
テクニカルレポート紹介ページ



4. 第 16 回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会 (完全バーチャル開催に決定)

第 16 回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会(通称:カルガリー冬期大会)は、2022 年 2 月 8 日から 11 日の間、カナダ・カルガリー市にて開催される予定でしたが、昨今の世界的なコロナウイルス感染拡大の影響を受け、カナダ大会組織委員会、PIARC 事務局、PIARC 実行委員会における協議・検討の結果、**カルガリー市での現地開催ではなく、完全バーチャル形式にて開催することを決定しました。**

バーチャル形式での大会開催は PIARC 史上初めてのことであり、今後セッション、通訳、ポスターセッション、展示会、TC/TF ミーティング等のあり方について検討、準備を進める予定です。

また開催方法の変更に伴い**論文アブストラクトの提出期限を 2021 年 1 月 31 日から、2 月 28 日まで 1 ヶ月延長**することになりました。大会論文募集の詳細につきましては、以下の QR コードからご確認ください。日本からはすでに多くの概要を提出いただいておりますが、これからの提出も可能ですので、引き続きご検討ほど何卒宜しくお願い致します。

カルガリー大会への現地参加を計画されていた皆さまには、誠に残念なお知らせではございますが、初のバーチャル形式による大会成功に向け、日本国内委員会としましても、皆様のご理解・ご協力を賜りたく、引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

PIARC の活動に関するご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC 日本国内委員会事務局 (日本道路協会)
安藤: ando@road.or.jp
PIARC 本部事務局
武内: jun.takeuchi@piarc.org



PIARC 日本国内委員会事務局